

第 53 回「山形県内企業の景気動向調査」速報

(平成 29 年 11 月調査)

～業況は 2 期連続で悪化も、引き続きプラスで推移～

【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が 3.3（前回調査比 1.1 ポイント下落）と **2 期連続でやや悪化**となったものの、引き続きプラスで推移している。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「人員・人手」が改善、「売上高」「営業利益」「資金繰り」が悪化となった。「人員・人手」は 7 期連続で値が上昇しており、人手不足感が増している。
- **業種別**に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業が 10.4（前回調査比 2.5 ポイント下落）、製造業が 20.0（前回調査比 3.2 ポイント上昇）、卸・小売業が▲15.0（前回調査比 8.4 ポイント上昇）、サービス業が▲6.2（前回調査比 5.2 ポイント下落）と、**製造業と卸・小売業で改善**した一方、**建設業とサービス業で悪化**となっている。
- **地域別**に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲0.9（前回調査比 9.4 ポイント上昇）、村山北部が 9.2（前回調査比 5.4 ポイント下落）、最上が▲4.9（前回調査比 0.3 ポイント下落）、置賜が 7.6（前回調査比 7.6 ポイント上昇）、庄内田川が 5.0（前回調査比 11.3 ポイント下落）、庄内飽海が 5.1（前回調査比 6.7 ポイント下落）となっている。**村山南部、置賜で改善**した一方、**村山北部、最上、庄内田川、庄内飽海で悪化**となった。
- **先行き見通し**は「自社の業況 D I 値」が▲8.1（今回調査比 11.4 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

【特別調査】

- **冬季ボーナス**について尋ねたところ、全業種でみると「支給する」と回答した企業の割合は 62.4%（前年比 5.2 ポイント上昇）と、前年に比べて上昇し、平成 24 年 11 月調査以降 6 年連続の上昇となった。

平成 29 年 11 月

株式会社 フィデア総合研究所

目次

I.	県内企業の業況	1
1.	概況	1
2.	業種別の動向	2
(1)	業種別の概況	2
(2)	業種別 D I 値の動向	3
①	建設業	3
②	製造業	4
③	卸・小売業	5
④	サービス業	6
3.	地域別の動向	7
(1)	地域別の概況	7
(2)	地域別 D I 値の動向	8
①	村山南部	8
②	村山北部	9
③	最上	10
④	置賜	11
⑤	庄内田川	12
⑥	庄内飽海	13
II.	景気の天気予報図	14
III.	特別調査	15
1.	冬季ボーナスについて	15
(1)	支給予定動向	15
(2)	支給予定額	17
<参考資料 I : 地域別・業種別回答率>		19
<参考資料 II : 調査の概要>		19

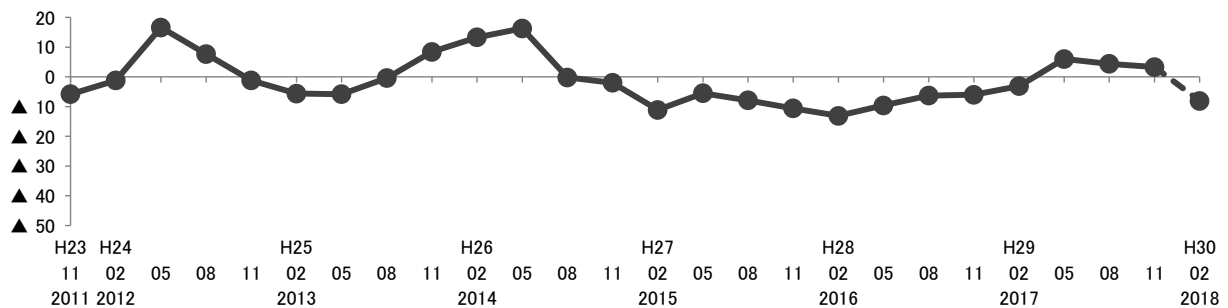
I. 県内企業の業況

1. 概況

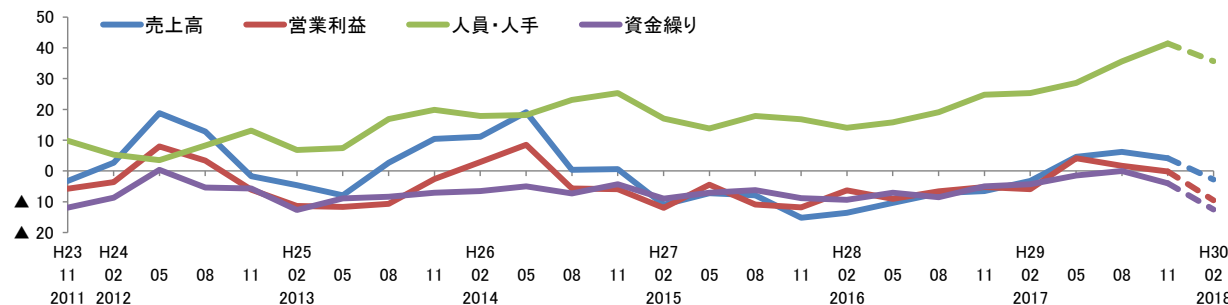
県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値（前年同期比）」が3.3（前回調査比1.1ポイント下落）と2期連続でやや悪化となったものの、引き続きプラスで推移している。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「人員・人手」が改善、「売上高」「営業利益」「資金繰り」が悪化となった。「人員・人手」は7期連続で値が上昇しており、人手不足感が増している。

先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲8.1（今回調査比11.4ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 1 全業種「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 2 全業種「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

山形県 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	全業種	前回調査比	前回調査予測				
H 28. 11 (n=435)	▲ 6.0	(0.3)	▲ 11.9	▲ 6.5	▲ 5.2	24.8	▲ 5.0
H 29. 02 (n=443)	▲ 3.1	(2.9)	▲ 10.1	▲ 3.2	▲ 5.9	25.3	▲ 4.3
H 29. 05 (n=419)	6.0	(9.1)	▲ 10.6	4.6	4.1	28.6	▲ 1.5
H 29. 08 (n=435)	4.4	(▲ 1.6)	▲ 9.0	6.2	1.7	35.6	0.0
H 29. 11 (n=418)	3.3	(▲ 1.1)	▲ 6.7	4.1	▲ 0.2	41.4	▲ 4.0
前回調査比	-	-	-	(▲ 2.1)	(▲ 1.9)	(5.8)	(▲ 4.0)
先行き見通し	▲ 8.1	-	-	▲ 2.8	▲ 9.5	35.7	▲ 12.5
今回調査比	(▲ 11.4)	-	-	(▲ 6.9)	(▲ 9.3)	(▲ 5.7)	(▲ 8.5)

※「売上高」DI値は建設業の「完成工事高」を含んだ数値

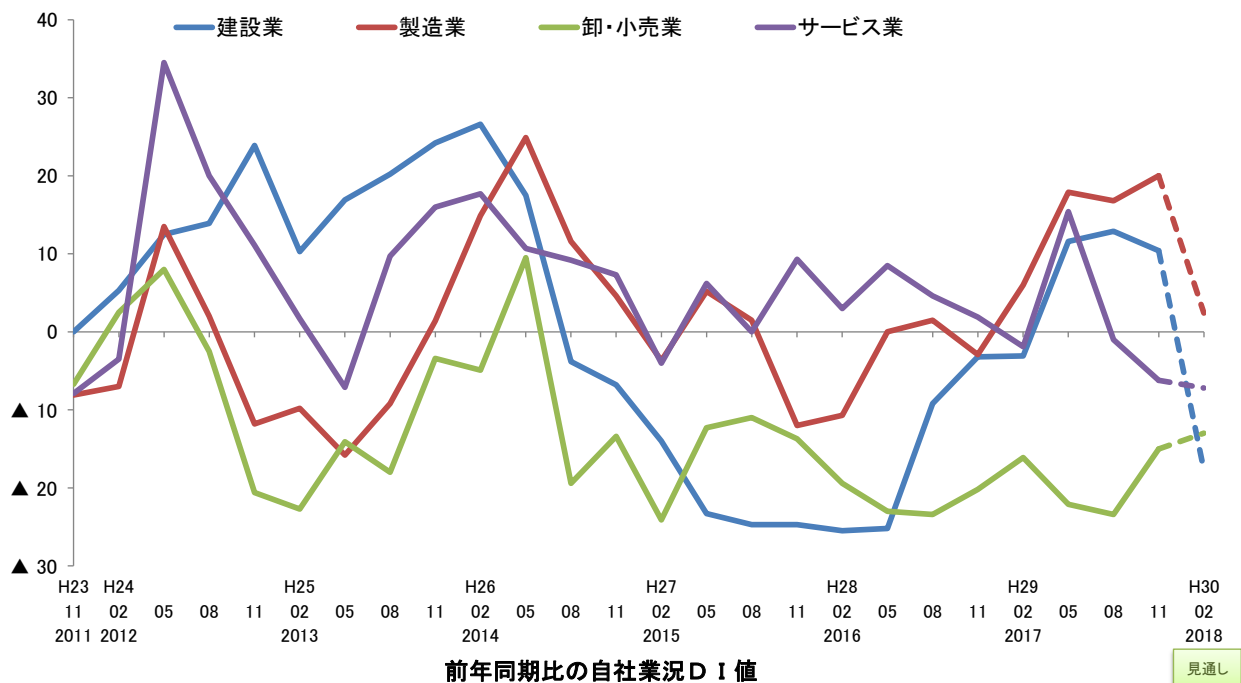
2. 業種別の動向

(1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、建設業が 10.4（前回調査比 2.5 ポイント下落）、製造業が 20.0（前回調査比 3.2 ポイント上昇）、卸・小売業が▲15.0（前回調査比 8.4 ポイント上昇）、サービス業が▲6.2（前回調査比 5.2 ポイント下落）と、製造業と卸・小売業で改善した一方、建設業とサービス業で悪化となっている。

業況の先行き見通しは、卸・小売業で改善するものの、建設業、製造業、サービス業で悪化の見込みとなっている。

図表 3 業種別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
H 28. 11 (n=435)	▲ 6.0	▲ 3.2	▲ 2.9	▲ 20.2	1.9
H 29. 02 (n=443)	▲ 3.1	▲ 3.1	6.0	▲ 16.1	▲ 1.9
H 29. 05 (n=419)	6.0	11.6	17.9	▲ 22.1	15.4
H 29. 08 (n=435)	4.4	12.9	16.8	▲ 23.4	▲ 1.0
H 29. 11 (n=418)	3.3	10.4	20.0	▲ 15.0	▲ 6.2
前回調査比	(▲ 1.1)	(▲ 2.5)	(3.2)	(8.4)	(▲ 5.2)
先行き見通し	▲ 8.1	▲ 17.7	2.4	▲ 13.0	▲ 7.2
今回調査比	(▲ 11.4)	(▲ 28.1)	(▲ 17.6)	(2.0)	(▲ 1.0)

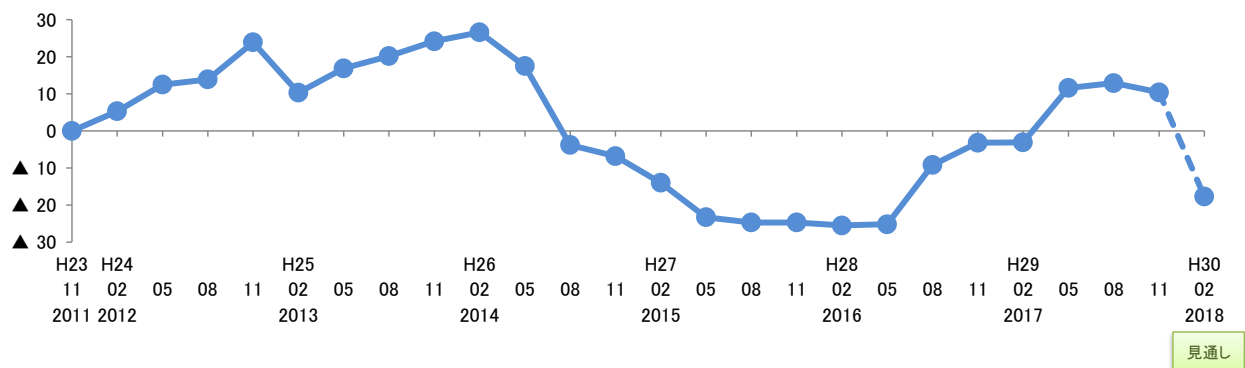
(2) 業種別 D I 値の動向

① 建設業

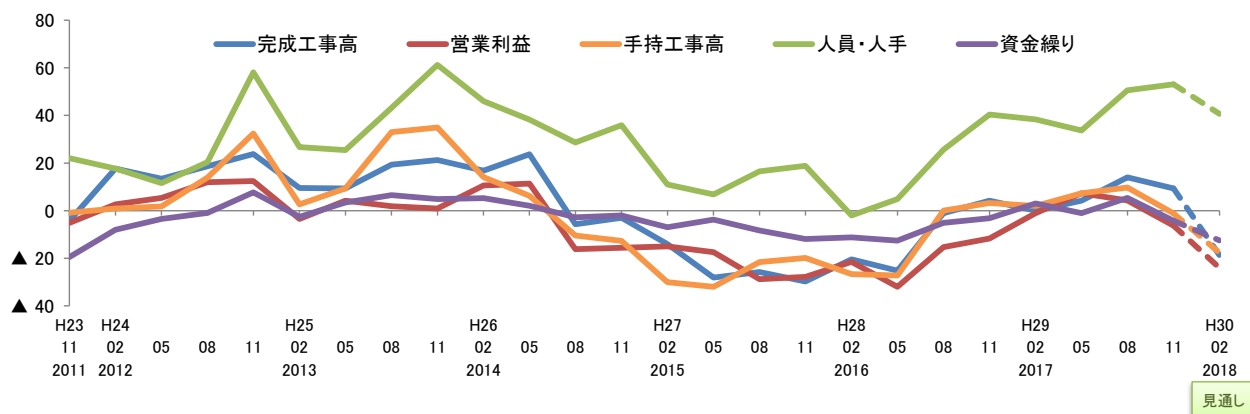
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 10.4（前回調査比 2.5 ポイント下落）と 7 期ぶりの悪化となった。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「人員・人手」で値が上昇、その他 4 項目で悪化となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が▲17.7（今回調査比 28.1 ポイント下落）と大幅に悪化の見込みとなっている。

図表 4 建設業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 5 建設業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

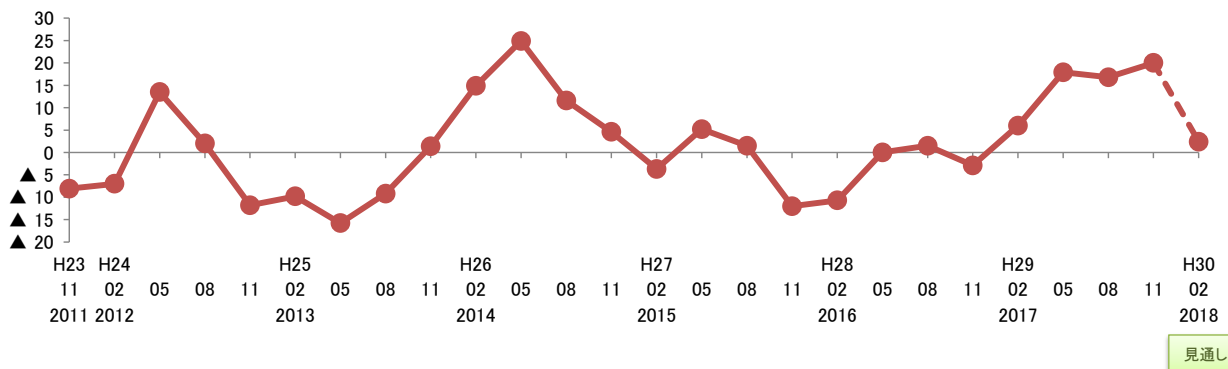
建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測	今回調査比					
H 28. 11 (n=94)	▲ 3.2	(6.0)	▲ 20.4	4.2	▲ 11.7	3.2	40.4	▲ 3.2
H 29. 02 (n=99)	▲ 3.1	(0.1)	▲ 17.0	0.0	▲ 1.0	2.0	38.3	3.0
H 29. 05 (n=95)	11.6	(14.7)	▲ 13.2	4.2	7.3	7.3	33.7	▲ 1.0
H 29. 08 (n=93)	12.9	(1.3)	▲ 20.0	14.0	4.3	9.7	50.5	5.4
H 29. 11 (n=97)	10.4	(▲ 2.5)	▲ 10.8	9.3	▲ 6.3	▲ 1.1	53.1	▲ 4.2
前回調査比	-	-	-	(▲ 4.7)	(▲ 10.6)	(▲ 10.8)	(2.6)	(▲ 9.6)
先行き見通し	▲ 17.7	-	-	▲ 18.7	▲ 24.0	▲ 17.7	40.7	▲ 12.5
今回調査比	(▲ 28.1)	-	-	(▲ 28.0)	(▲ 17.7)	(▲ 16.6)	(▲ 12.4)	(▲ 8.3)

② 製造業

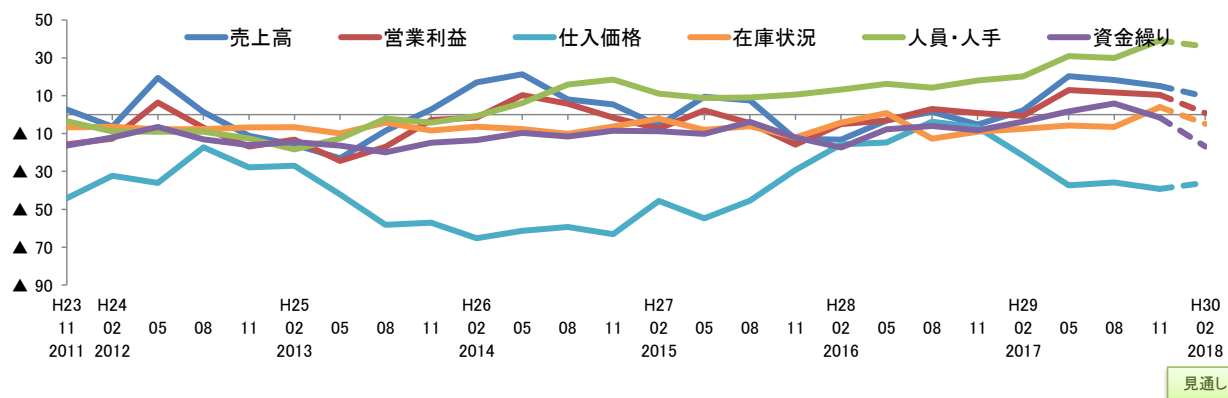
「自社の業況DI値（前年同期比）」は20.0（前回調査比3.2ポイント上昇）と2期ぶりに改善した。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「売上高」「営業利益」「仕入価格」「資金繰り」で悪化となった。中でも「資金繰り」の悪化幅が大きく、DI値がマイナスに転じた。一方、「在庫状況」は改善となり、DI値がプラスに転じた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が2.4（今回調査比17.6ポイント下落）と大幅に悪化の見込みとなっている。

図表 6 製造業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 7 製造業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

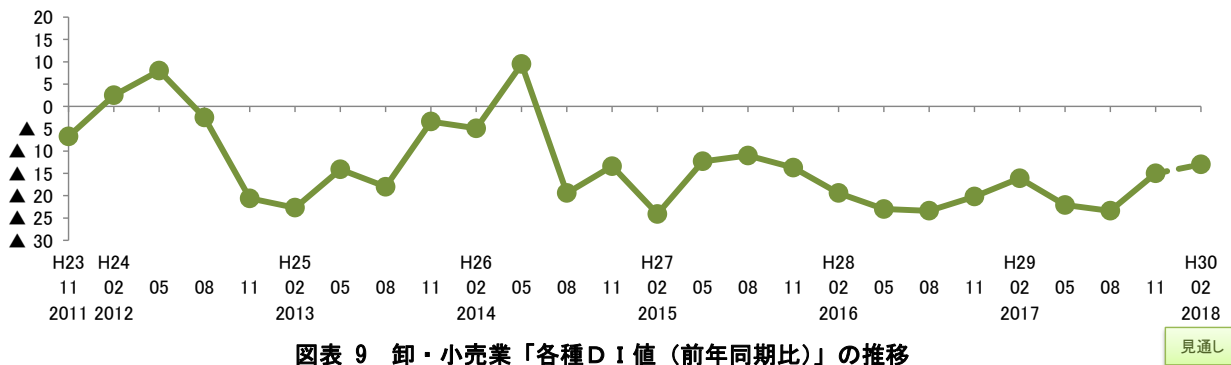
製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員 人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
H 28. 11 (n=134)	▲ 2.9	(▲ 4.4)	▲ 7.5	▲ 5.2	0.8	▲ 6.7	▲ 9.0	18.0	▲ 8.2
H 29. 02 (n=134)	6.0	(8.9)	4.5	2.2	▲ 0.7	▲ 21.7	▲ 7.5	20.2	▲ 3.7
H 29. 05 (n=123)	17.9	(11.9)	▲ 9.0	20.3	13.0	▲ 37.4	▲ 5.7	30.9	1.7
H 29. 08 (n=137)	16.8	(▲ 1.1)	8.2	18.3	11.7	▲ 35.8	▲ 6.5	29.9	5.9
H 29. 11 (n=125)	20.0	(3.2)	2.9	15.2	10.4	▲ 39.2	4.0	39.2	▲ 1.6
前回調査比	-	-	-	(▲ 3.1)	(▲ 1.3)	(▲ 3.4)	(10.5)	(9.3)	(▲ 7.5)
先行き見通し	2.4	-	-	9.6	0.8	▲ 36.0	▲ 4.8	36.0	▲ 16.8
今回調査比	(▲ 17.6)	-	-	(▲ 5.6)	(▲ 9.6)	(3.2)	(▲ 8.8)	(▲ 3.2)	(▲ 15.2)

③ 卸・小売業

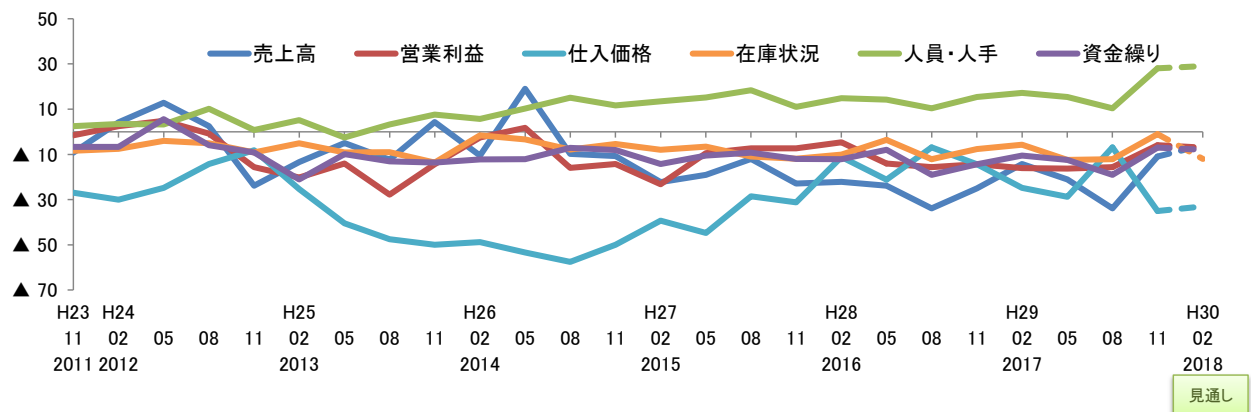
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲15.0（前回調査比 8.4 ポイント上昇）と 3 期ぶりに改善となった。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「仕入価格」で悪化したものの、その他 5 項目で改善となった。「売上高」が大きく改善したものの、「人員・人手」の値も大幅に上昇しており、依然として人手不足の状況がうかがえる。

業況の先行き見通しは、▲13.0（今回調査比 2.0 ポイント上昇）と改善の見込みとなっている。

図表 8 卸・小売業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 9 卸・小売業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

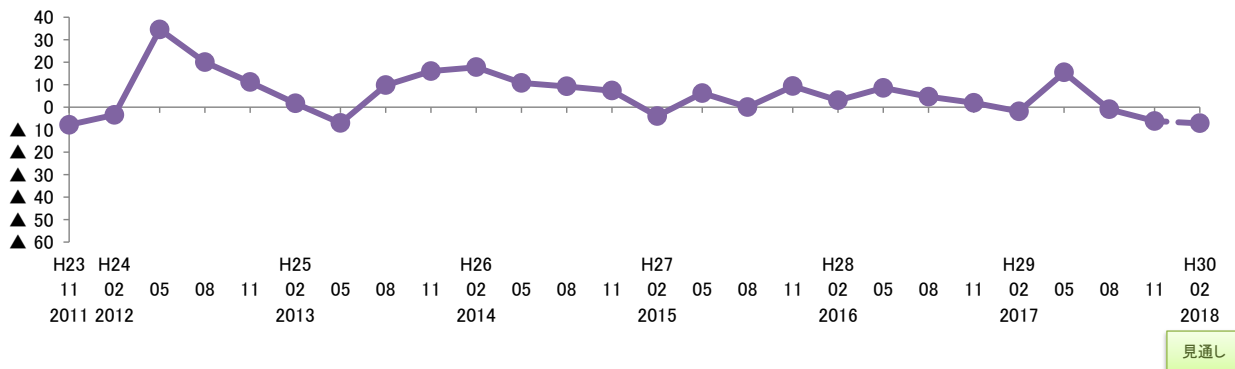
卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員・人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
H 28.11 (n=104)	▲ 20.2	(3.2)	▲ 12.2	▲ 25.0	▲ 14.4	▲ 14.4	▲ 7.7	15.4	▲ 14.4
H 29.02 (n=105)	▲ 16.1	(4.1)	▲ 15.4	▲ 14.3	▲ 16.1	▲ 24.8	▲ 5.7	17.2	▲ 10.5
H 29.05 (n=104)	▲ 22.1	(▲ 6.0)	▲ 18.1	▲ 21.1	▲ 16.3	▲ 28.8	▲ 12.5	15.4	▲ 12.5
H 29.08 (n=105)	▲ 23.4	(▲ 1.3)	▲ 13.4	▲ 33.9	▲ 15.6	▲ 6.9	▲ 12.1	10.4	▲ 19.1
H 29.11 (n=100)	▲ 15.0	(8.4)	▲ 12.2	▲ 11.0	▲ 6.0	▲ 35.0	▲ 1.0	28.0	▲ 7.0
前回調査比	-	-	-	(22.9)	(9.6)	(▲ 28.1)	(11.1)	(17.6)	(12.1)
先行き見通し	▲ 13.0	-	-	▲ 6.0	▲ 7.0	▲ 33.0	▲ 12.0	29.0	▲ 8.0
今回調査比	(2.0)	-	-	(5.0)	(▲ 1.0)	(2.0)	(▲ 11.0)	(1.0)	(▲ 1.0)

④ サービス業

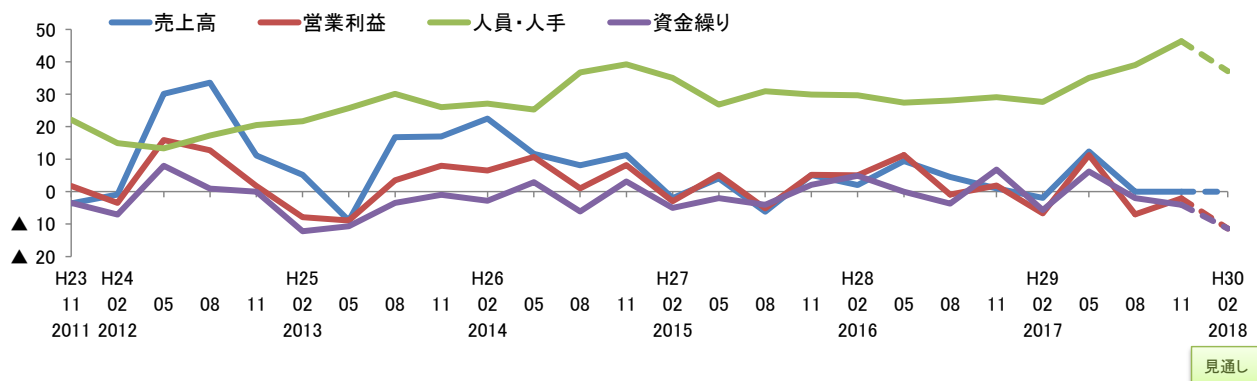
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲6.2（前回調査比 5.2 ポイント下落）と、2 期連続で悪化となった。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「売上高」が横ばい、「営業利益」が改善、「資金繰り」が悪化となっている。「人員・人手」は 3 期連続で値が上昇しており、人手不足感は高まっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲7.2（今回調査比 1.0 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 10 サービス業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 11 サービス業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測					
H 28.11 (n=103)	1.9	(▲ 2.7)	▲ 9.1	1.0	1.9	29.1	6.8
H 29.02 (n=105)	▲ 1.9	(▲ 3.8)	▲ 17.5	▲ 1.9	▲ 6.7	27.6	▲ 5.7
H 29.05 (n=97)	15.4	(17.3)	▲ 2.9	12.4	11.3	35.0	6.2
H 29.08 (n=100)	▲ 1.0	(▲ 16.4)	▲ 15.5	0.0	▲ 7.0	39.0	▲ 2.0
H 29.11 (n=97)	▲ 6.2	(▲ 5.2)	▲ 5.0	0.0	▲ 2.1	46.3	▲ 4.1
前回調査比	-	-	-	(0.0)	(4.9)	(7.3)	(▲ 2.1)
先行き見通し	▲ 7.2	-	-	0.0	▲ 11.4	37.1	▲ 11.4
今回調査比	(▲ 1.0)	-	-	(0.0)	(▲ 9.3)	(▲ 9.2)	(▲ 7.3)

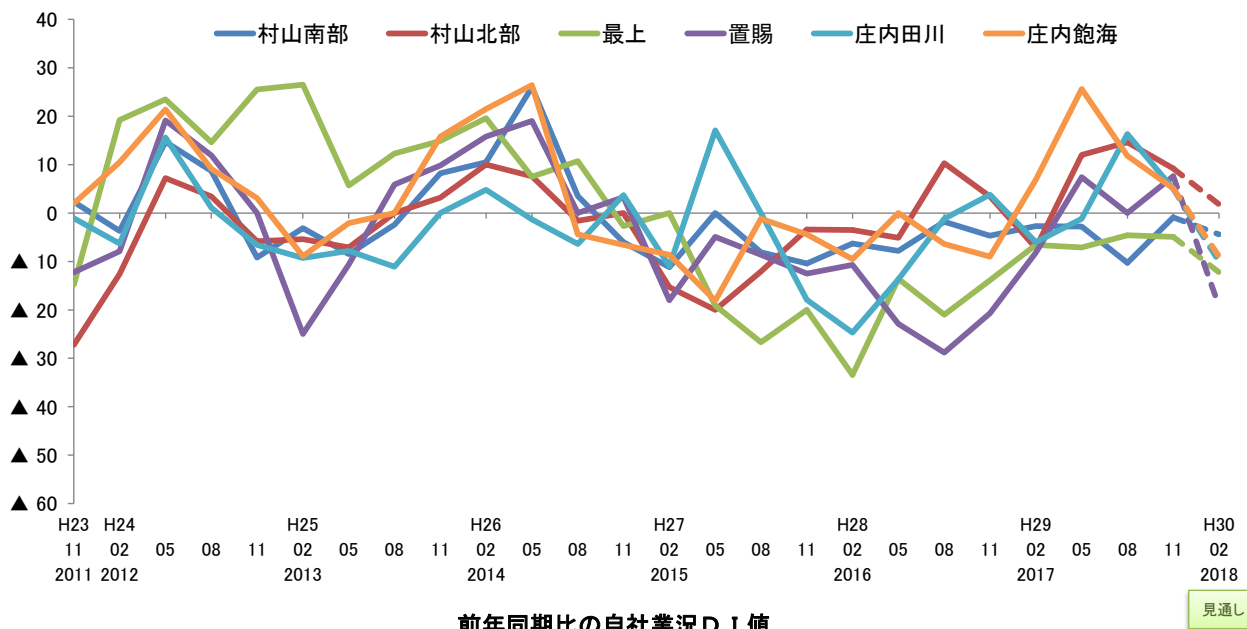
3. 地域別の動向

(1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲0.9（前回調査比 9.4 ポイント上昇）、村山北部が 9.2（前回調査比 5.4 ポイント下落）、最上が▲4.9（前回調査比 0.3 ポイント下落）、置賜が 7.6（前回調査比 7.6 ポイント上昇）、庄内田川が 5.0（前回調査比 11.3 ポイント下落）、庄内飽海が 5.1（前回調査比 6.7 ポイント下落）となっている。村山南部、置賜で改善した一方、村山北部、最上、庄内田川、庄内飽海で悪化となった。

業況の先行き見通しをみると、すべての地域で悪化が見込まれている。

図表 12 地域別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



地域別 調査時（サンプル数）	前年同期比の自社業況 D I 値						
	全地域	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
H 28. 11 (n=435)	▲ 6.0	▲ 4.7	3.4	▲ 13.9	▲ 20.7	3.8	▲ 9.0
H 29. 02 (n=443)	▲ 3.1	▲ 2.7	▲ 7.2	▲ 6.6	▲ 8.2	▲ 6.0	6.9
H 29. 05 (n=419)	6.0	▲ 2.8	12.0	▲ 7.1	7.4	▲ 1.2	25.6
H 29. 08 (n=435)	4.4	▲ 10.3	14.6	▲ 4.6	0.0	16.3	11.8
H 29. 11 (n=418)	3.3	▲ 0.9	9.2	▲ 4.9	7.6	5.0	5.1
前回調査比	(▲ 1.1)	(9.4)	(▲ 5.4)	(▲ 0.3)	(7.6)	(▲ 11.3)	(▲ 6.7)
先行き見通し	▲ 8.1	▲ 4.4	1.8	▲ 12.2	▲ 19.2	▲ 10.0	▲ 8.9
今回調査比	(▲ 11.4)	(▲ 3.5)	(▲ 7.4)	(▲ 7.3)	(▲ 26.8)	(▲ 15.0)	(▲ 14.0)

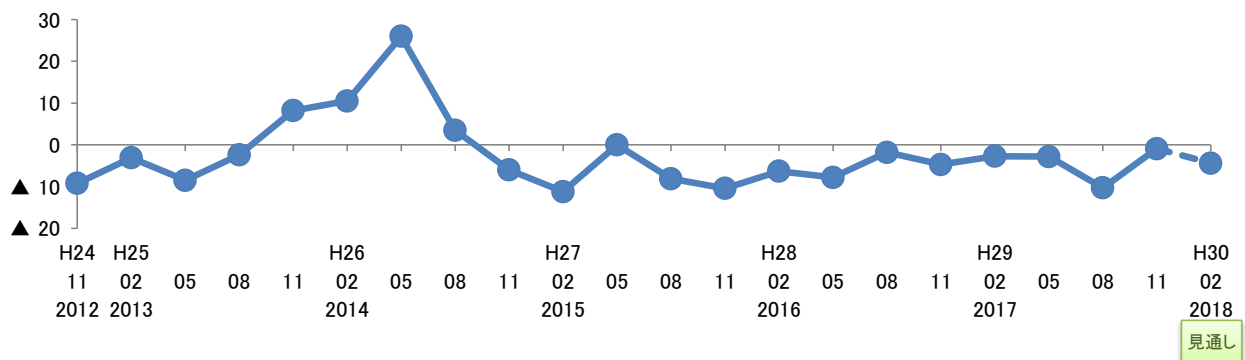
(2) 地域別 D I 値の動向

① 村山南部

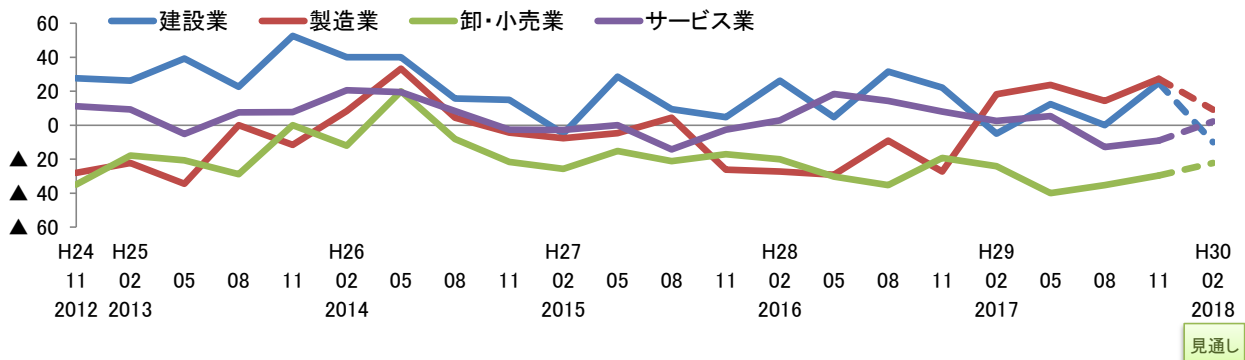
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲0.9（前回調査比 9.4 ポイント上昇）と大幅に改善した。業種別にみても、すべての業種で改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が▲4.4（今回調査比 3.5 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 13 村山南部「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 14 村山南部「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

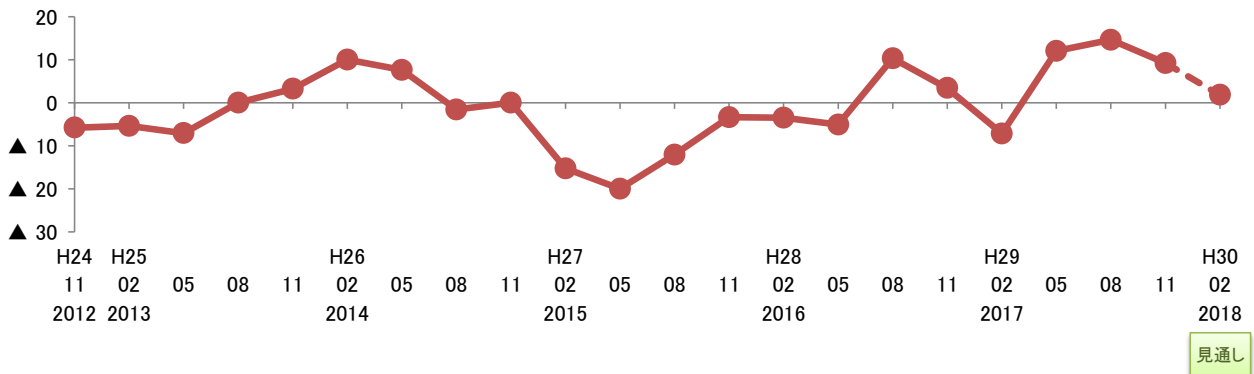
村山南部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 28. 11 (n=108)	▲ 4.7	(▲ 2.9)	▲ 11.1	22.2	▲ 27.2	▲ 19.3	8.1
H 29. 02 (n=111)	▲ 2.7	(2.0)	▲ 11.1	▲ 5.0	18.2	▲ 24.1	2.5
H 29. 05 (n=104)	▲ 2.8	(▲ 0.1)	▲ 7.2	12.5	23.8	▲ 40.0	5.4
H 29. 08 (n=107)	▲ 10.3	(▲ 7.6)	▲ 11.6	0.0	14.3	▲ 35.3	▲ 12.9
H 29. 11 (n=113)	▲ 0.9	(9.4)	▲ 8.4	25.0	27.3	▲ 29.6	▲ 9.1
前回調査比	-	-	-	(25.0)	(13.0)	(5.7)	(3.8)
先行き見通し	▲ 4.4	-	-	▲ 10.0	9.1	▲ 22.2	2.3
今回調査比	(▲ 3.5)	-	-	(▲ 35.0)	(▲ 18.2)	(7.4)	(11.4)

② 村山北部

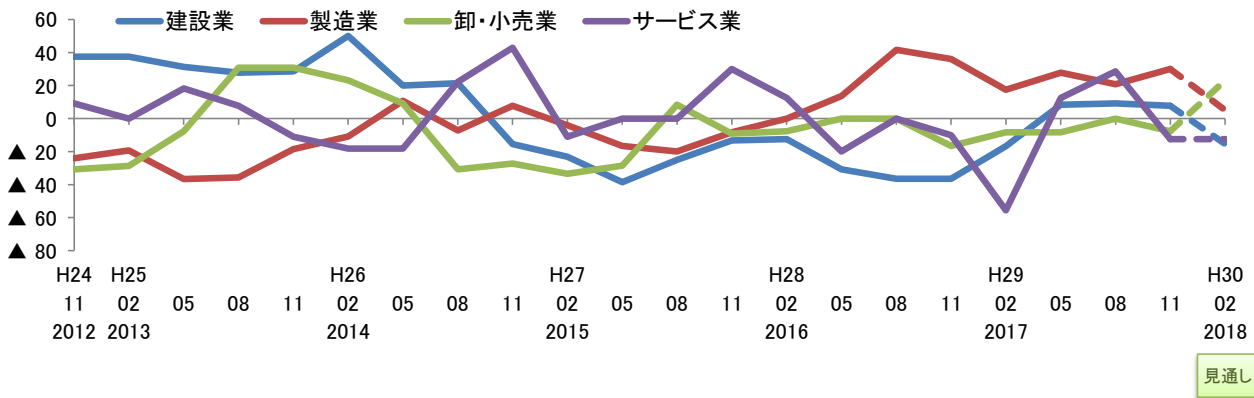
「自社の業況DI値（前年同期比）」は 9.2（前回調査比 5.4 ポイント下落）と、DI 値はプラスを維持したものの、3 期ぶりに悪化となった。業種別にみると、製造業で改善となったものの、建設業、卸・小売業、サービス業で悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が 1.8（今回調査比 7.4 ポイント下落）とさらに悪化の見込みとなっている。

図表 15 村山北部「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 16 村山北部「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

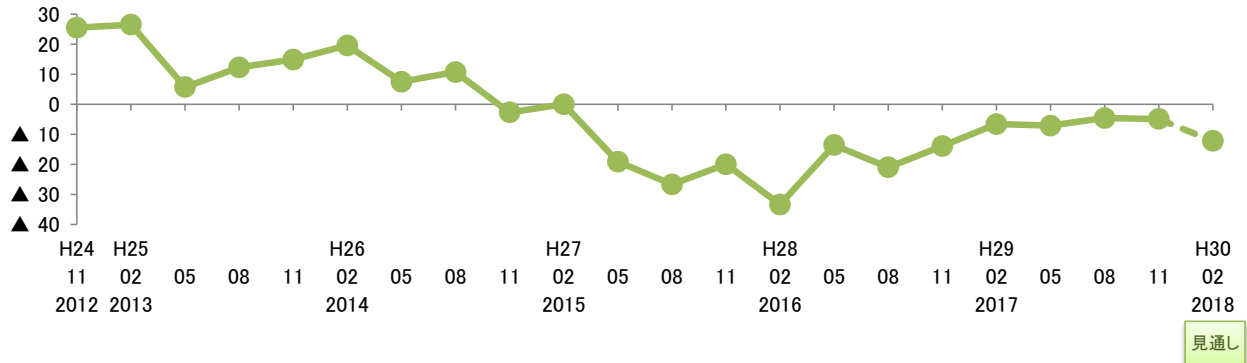
村山北部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 28. 11 (n=58)	3.4	(▲ 6.9)	5.1	▲ 36.4	36.0	▲ 16.6	▲ 10.0
H 29. 02 (n=56)	▲ 7.2	(▲ 10.6)	1.8	▲ 16.7	17.4	▲ 8.3	▲ 55.6
H 29. 05 (n=50)	12.0	(19.2)	▲ 16.1	8.3	27.7	▲ 8.3	12.5
H 29. 08 (n=55)	14.6	(2.6)	▲ 6.0	9.1	20.8	0.0	28.6
H 29. 11 (n=54)	9.2	(▲ 5.4)	▲ 5.4	7.7	30.0	▲ 7.7	▲ 12.5
前回調査比	-	-	-	(▲ 1.4)	(9.2)	(▲ 7.7)	(▲ 41.1)
先行き見通し	1.8	-	-	▲ 15.4	5.0	23.1	▲ 12.5
今回調査比	(▲ 7.4)	-	-	(▲ 23.1)	(▲ 25.0)	(30.8)	(0.0)

③ 最上

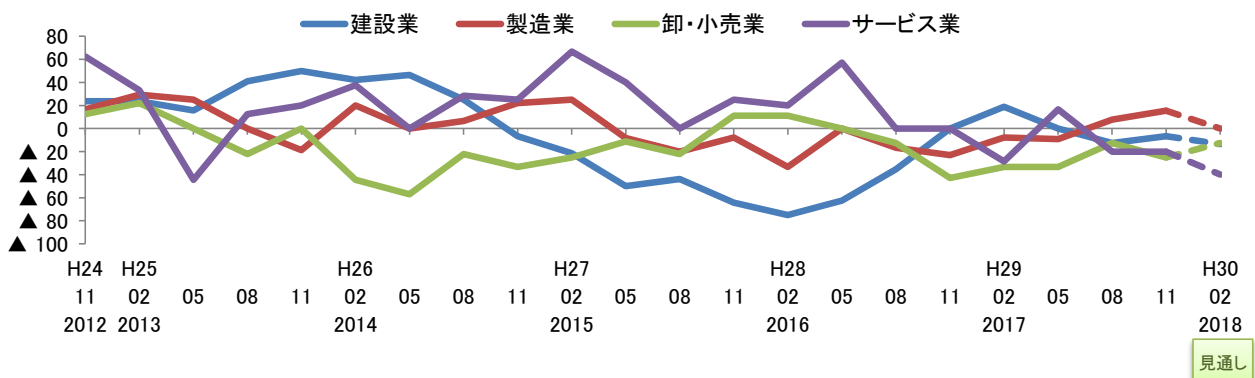
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲4.9（前回調査比0.3ポイント下落）とほぼ横ばいとなった。業種別にみると、サービス業が横ばい、建設業と製造業で改善、卸小売業で悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲12.2（今回調査比7.3ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 17 最上「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 18 最上「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

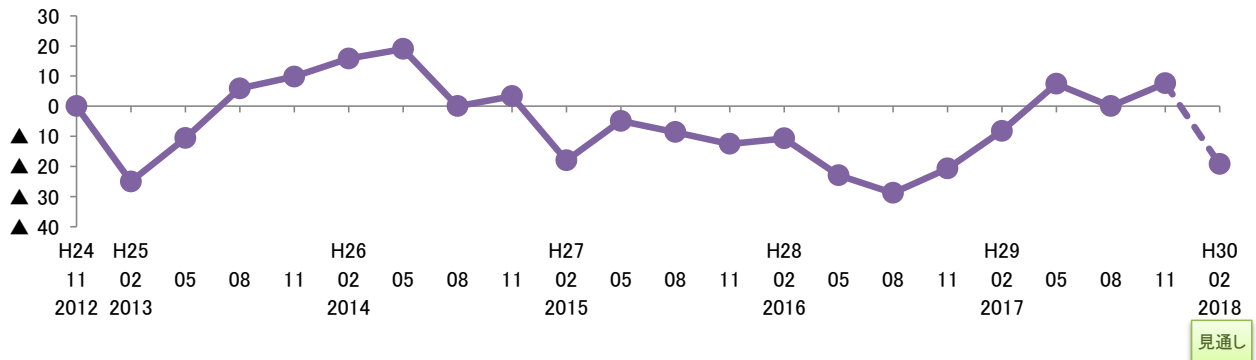
最上 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 28. 11 (n=43)	▲ 13.9	(7.1)	▲ 9.3	0.0	▲ 23.1	▲ 42.9	0.0
H 29. 02 (n=45)	▲ 6.6	(7.3)	▲ 9.3	18.8	▲ 7.7	▲ 33.3	▲ 28.6
H 29. 05 (n=42)	▲ 7.1	(▲ 0.5)	▲ 22.2	0.0	▲ 9.1	▲ 33.3	16.6
H 29. 08 (n=44)	▲ 4.6	(2.5)	▲ 23.9	▲ 12.5	14.3	▲ 12.5	▲ 20.0
H 29. 11 (n=41)	▲ 4.9	(▲ 0.3)	▲ 2.3	▲ 6.6	15.4	▲ 25.0	▲ 20.0
前回調査比	-	-	-	(5.9)	(1.1)	(▲ 12.5)	(0.0)
先行き見通し	▲ 12.2	-	-	▲ 13.4	0.0	▲ 12.5	▲ 40.0
今回調査比	(▲ 7.3)	-	-	(▲ 6.8)	(▲ 15.4)	(12.5)	(▲ 20.0)

④ 置 賜

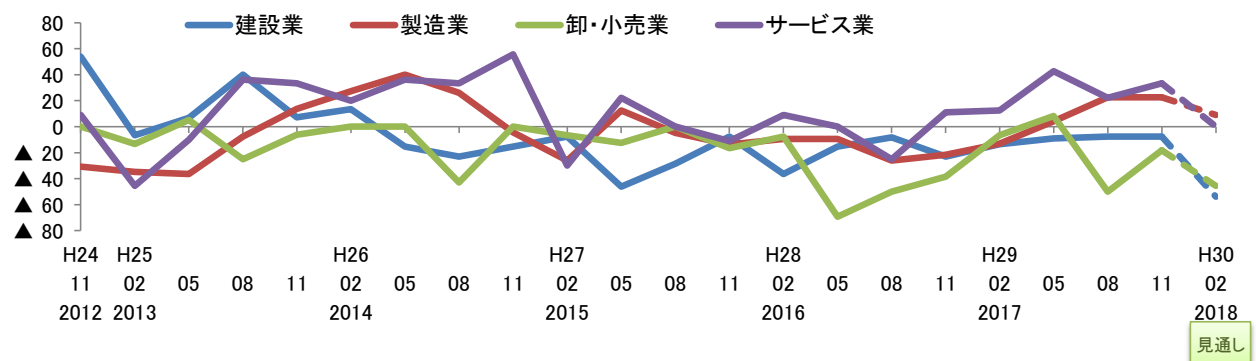
「自社の業況DI値（前年同期比）」は 7.6（前回調査比 7.6 ポイント上昇）と 2 期ぶりに改善となった。業種別にみると、建設業が横ばい、その他 3 業種で改善となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲19.2（今回調査比 26.8 ポイント下落）と大幅に悪化の見込みとなっている。

図表 19 置賜「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 20 置賜「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

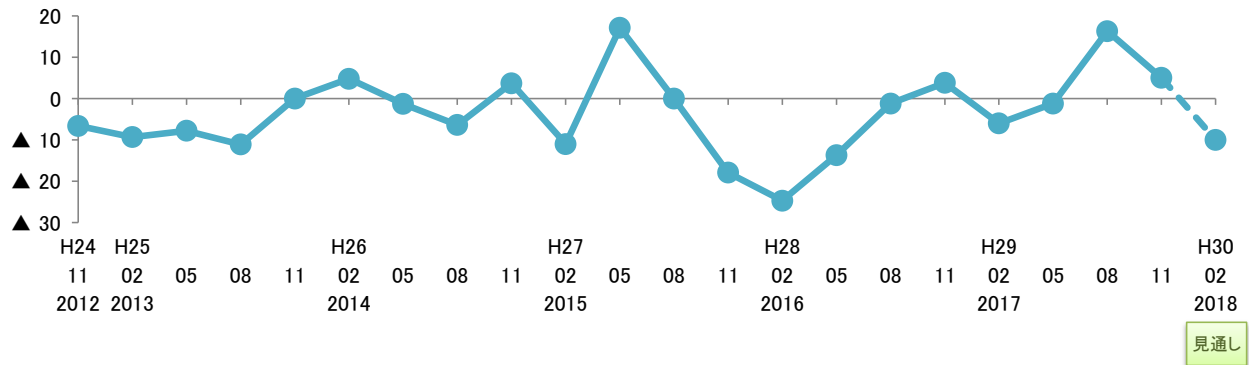
置 賜 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 28. 11 (n=58)	▲ 20.7	(8.1)	▲ 20.3	▲ 23.1	▲ 21.7	▲ 38.5	11.1
H 29. 02 (n=61)	▲ 8.2	(12.5)	▲ 13.8	▲ 13.4	▲ 13.1	▲ 6.6	12.5
H 29. 05 (n=54)	7.4	(15.6)	▲ 16.4	▲ 9.1	4.1	8.3	42.8
H 29. 08 (n=58)	0.0	(▲ 7.4)	1.8	▲ 7.7	4.0	▲ 50.0	22.2
H 29. 11 (n=52)	7.6	(7.6)	▲ 10.4	▲ 7.7	22.7	▲ 18.2	33.4
前回調査比	-	-	-	(0.0)	(18.7)	(31.8)	(11.2)
先行き見通し	▲ 19.2	-	-	▲ 53.8	9.1	▲ 45.5	0.0
今回調査比	(▲ 26.8)	-	-	(▲ 46.1)	(▲ 13.6)	(▲ 27.3)	(▲ 33.4)

⑤ 庄内田川

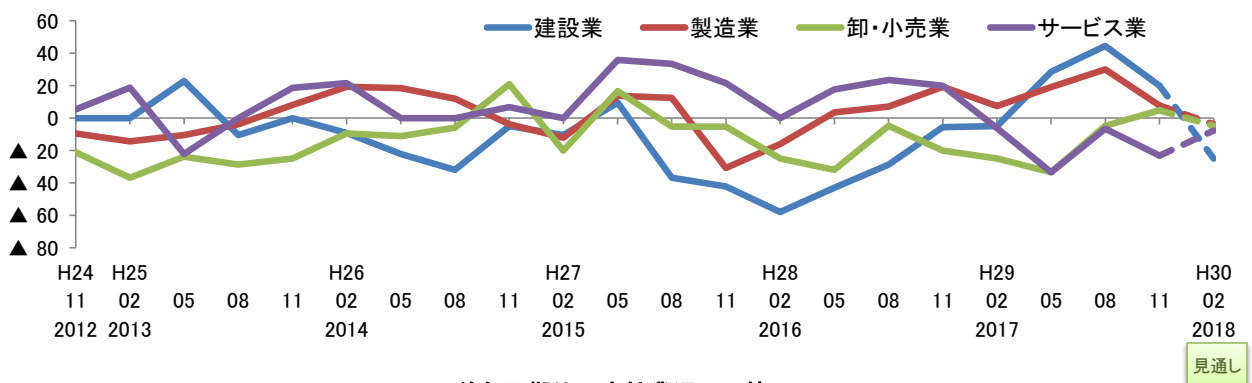
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 5.0（前回調査比 11.3 ポイント下落）と 3 期ぶりに悪化となった。業種別にみると、卸・小売業で改善したものの、建設業、製造業、サービス業で悪化となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が▲10.0（今回調査比 15.0 ポイント下落）と悪化し、D I 値が再びマイナスに転じる見込みとなっている。

図表 21 庄内田川「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 22 庄内田川「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

庄内田川 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 28. 11 (n=79)	3.8	(5.0)	▲ 18.4	▲ 5.6	19.3	▲ 20.0	20.0
H 29. 02 (n=83)	▲ 6.0	(▲ 9.8)	▲ 7.6	▲ 5.0	7.4	▲ 25.0	▲ 6.2
H 29. 05 (n=83)	▲ 1.2	(4.8)	▲ 8.4	28.6	19.2	▲ 33.3	▲ 33.3
H 29. 08 (n=86)	16.3	(17.5)	▲ 14.4	44.5	30.0	▲ 4.8	▲ 6.6
H 29. 11 (n=80)	5.0	(▲ 11.3)	▲ 4.6	20.0	7.7	4.8	▲ 23.1
前回調査比	-	-	-	(▲ 24.5)	(▲ 22.3)	(9.6)	(▲ 16.5)
先行き見通し	▲ 10.0	-	-	▲ 25.0	▲ 3.8	▲ 4.8	▲ 7.7
今回調査比	(▲ 15.0)	-	-	(▲ 45.0)	(▲ 11.5)	(▲ 9.6)	(15.4)

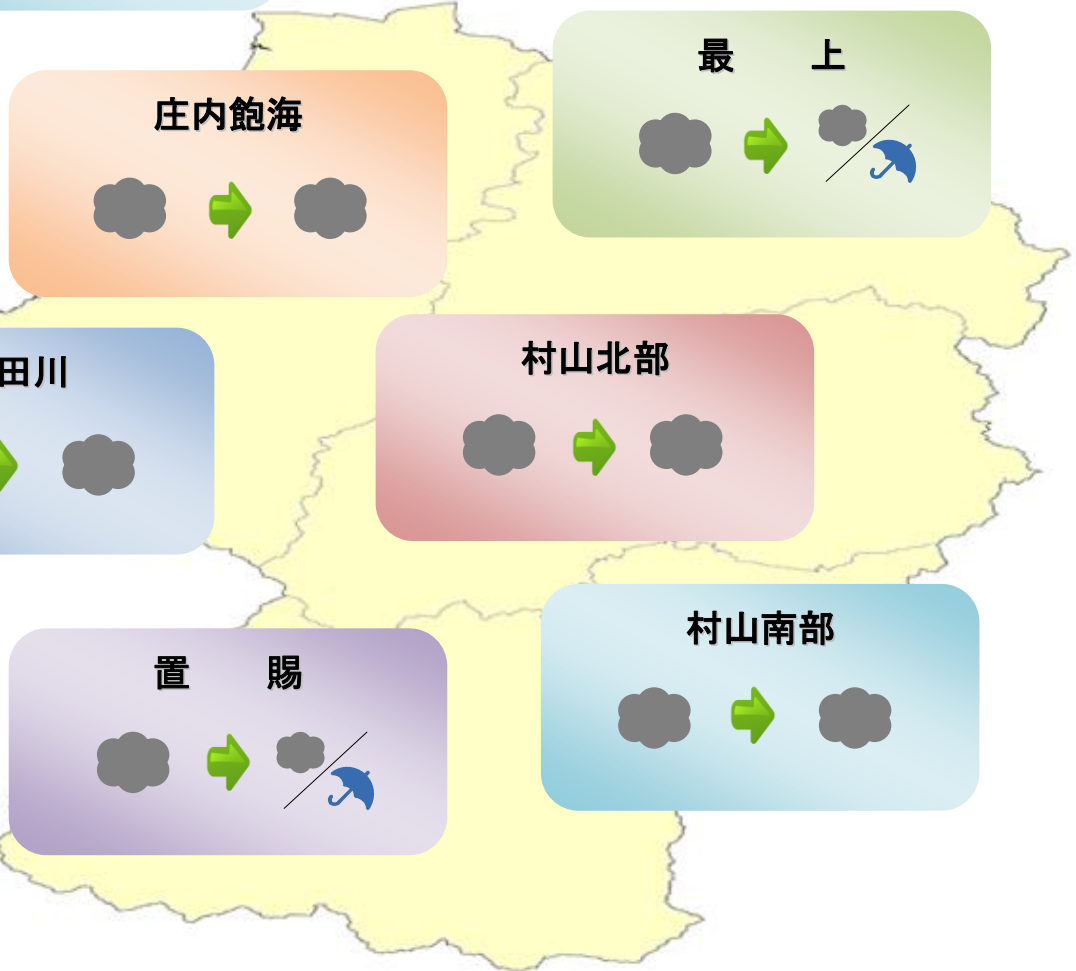
II. 景気天気予報図

山形県

今期の業況 → 来期の見通し

【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
$D \geq 30$	$30 > D \geq 10$	$10 > D \geq \Delta 10$	$\Delta 10 > D \geq \Delta 30$	$\Delta 30 > D$



今期の概況

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

来期の見通し

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

III. 特別調査

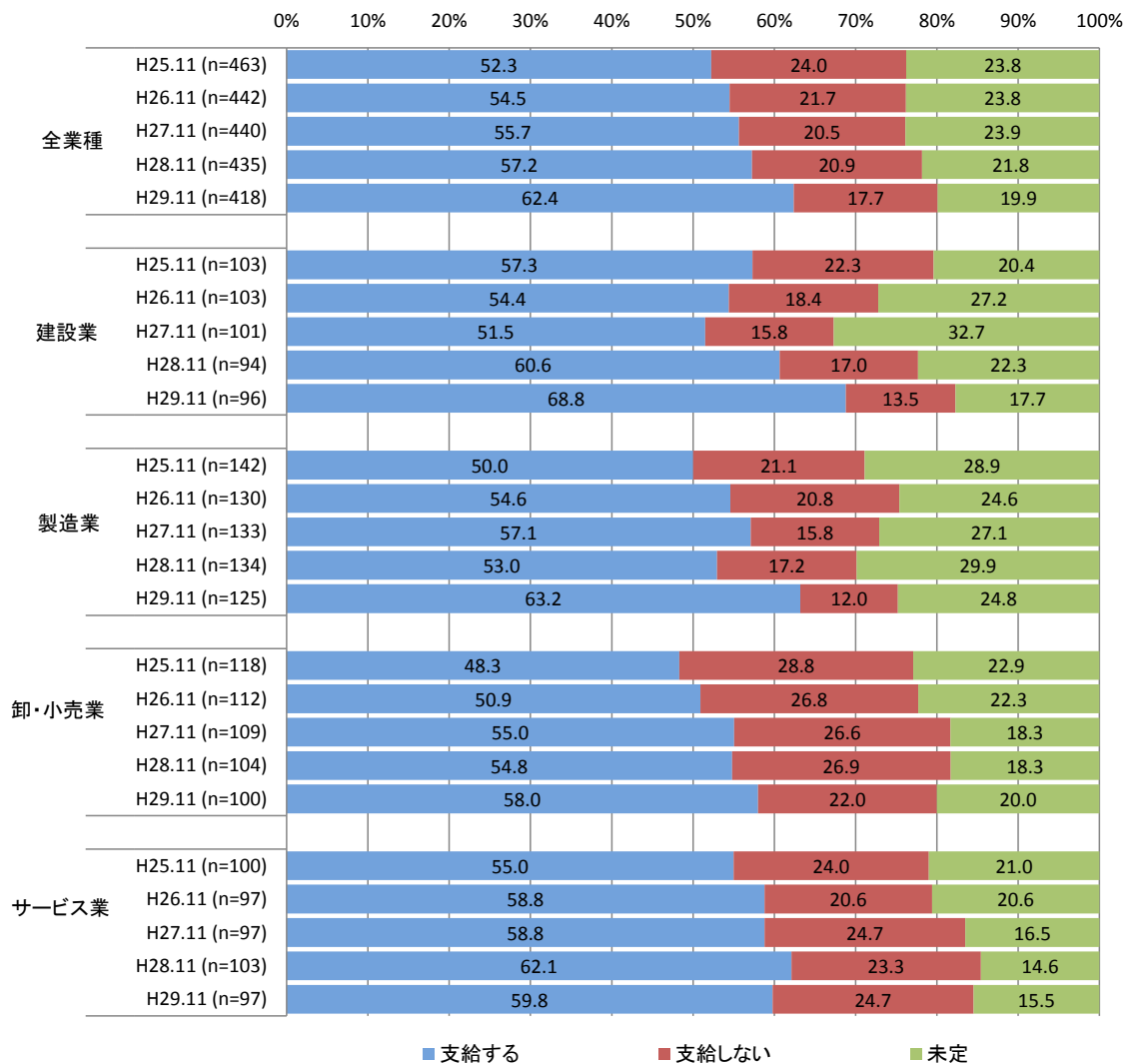
1. 冬季ボーナスについて

(1) 支給予定動向

冬季ボーナスの支給予定について尋ねたところ、全業種で見ると「支給する」と回答した企業の割合は 62.4%（前年比 5.2 ポイント上昇）と、前年に比べて上昇し、平成 24 年 11 月調査以降 6 年連続の上昇となった。

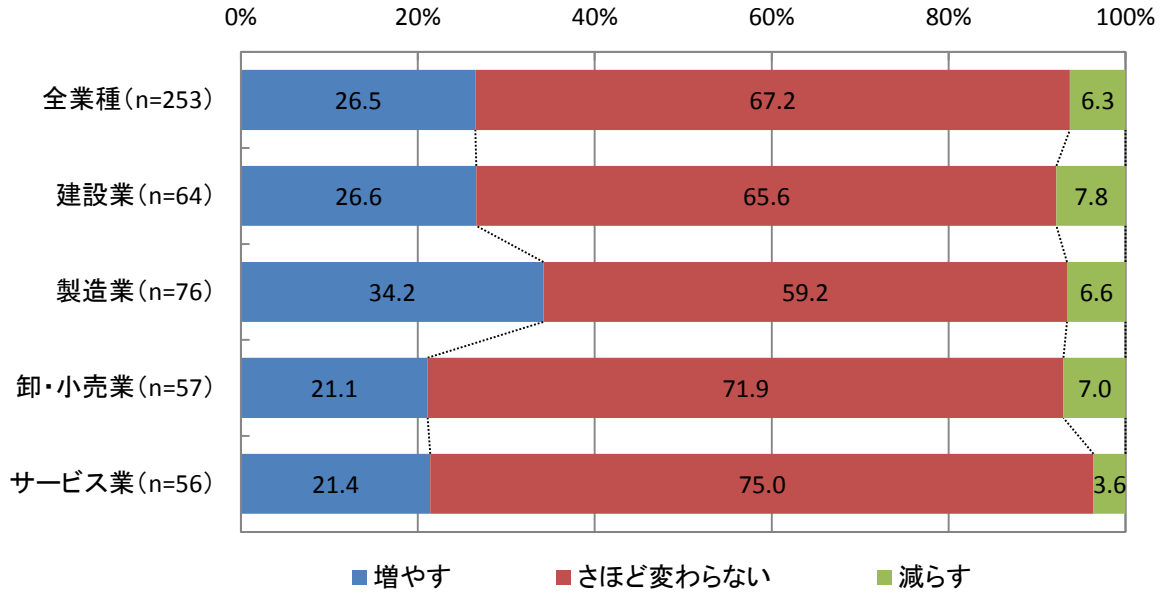
業種別にみると、「支給する」と回答した企業の割合は、建設業が 68.8%（前年比 8.2 ポイント上昇）、製造業が 63.2%（前年比 10.2 ポイント上昇）、卸・小売業が 58.0%（前年比 3.2 ポイント上昇）、サービス業が 59.8%（前年比 2.3 ポイント低下）と、建設業、製造業、卸・小売業で上昇している。

図表 25 業種別「冬季ボーナス支給動向」の推移



また、今季「支給する」と回答した企業に対し、昨年冬季と比べて支給額を増やすかどうか尋ねたところ、全業種で見ると「さほど変わらない」と回答した企業の割合が最も高く、67.2%であった。業種別にみると、製造業で「増やす」と回答した企業の割合が他業種に比べて高く、製造業において、景況感の好調な推移が反映されている状況がうかがえる。

図表 26 業種別 「冬季ボーナスを“支給する”企業の方針」



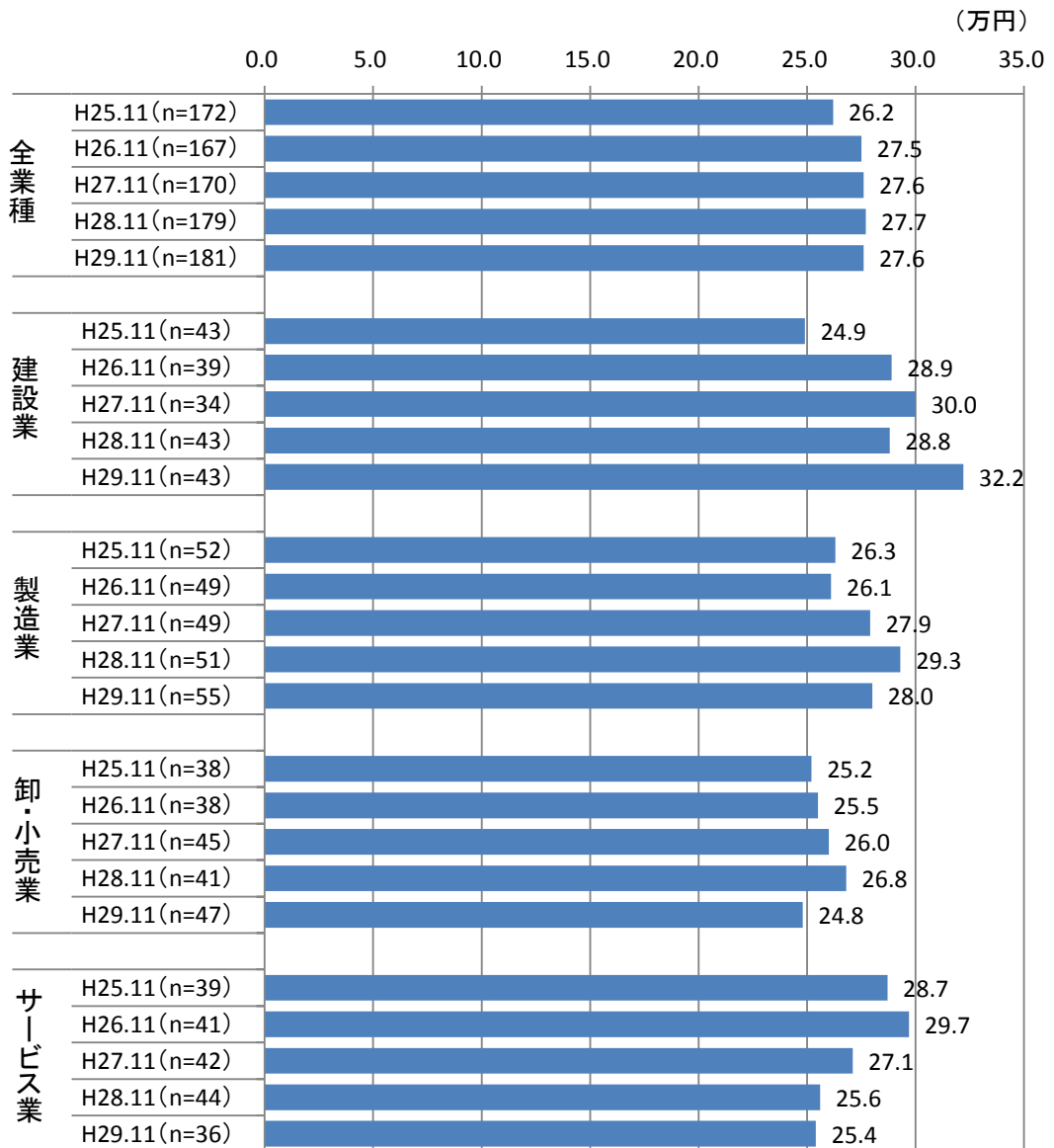
(2) 支給予定額

冬季ボーナスの支給予定額については、全業種平均で 27.6 万円となり、昨年に比べ 0.1 万円の減少となる見込みである。業種別にみると、建設業が 32.2 万円と最も高い一方、卸・小売業が 24.8 万円と最も低い。

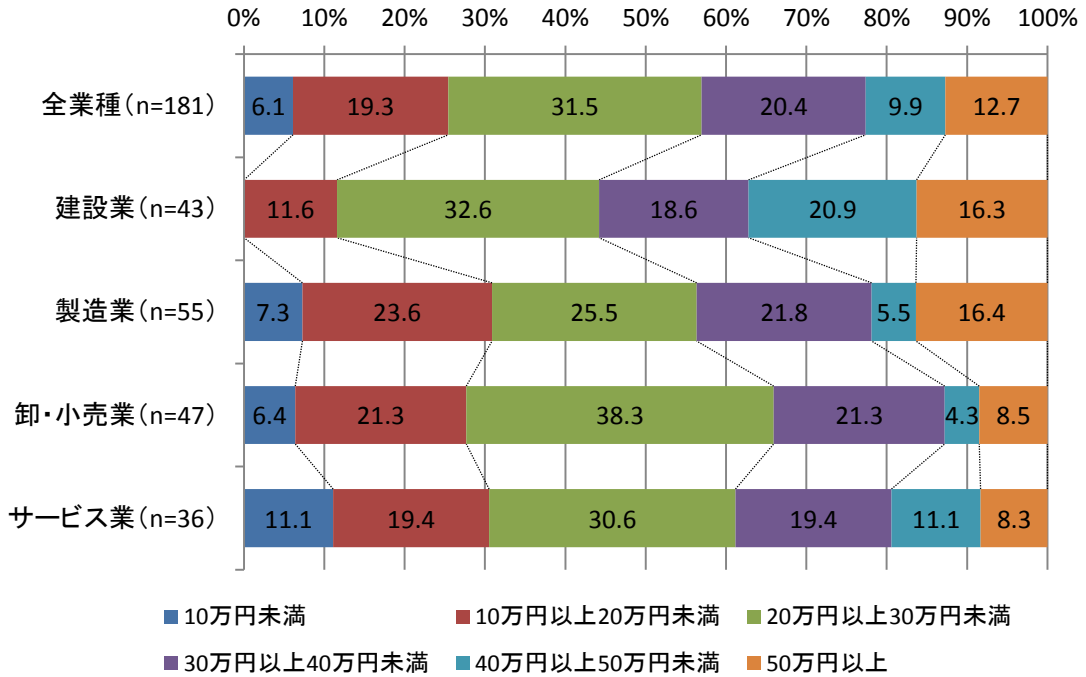
平均支給予定額は、全業種で「20 万円以上 30 万円未満」が最も多く、31.5%となっている（図表 28）。

平均支給予定月数は、全業種で「1.0 カ月以上 1.5 カ月未満」が最も多く、40.0%となっている（図表 29）。

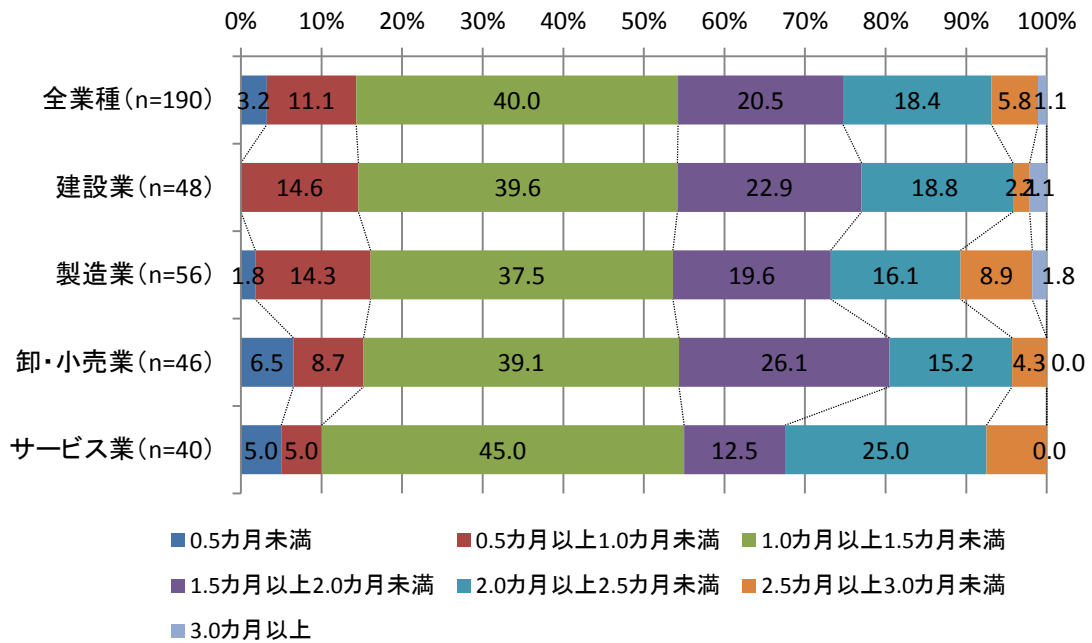
図表 27 業種別「冬季ボーナスの平均支給予定額」の推移



図表 28 業種別「冬季ボーナス平均支給予定額」



図表 29 業種別「冬季ボーナス平均支給予定月数」



<参考資料Ⅰ：地域別・業種別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	23	35	48	55	161
村山北部	21	35	17	18	91
最上	21	18	11	18	68
置賜	23	32	25	14	94
庄内田川	30	38	29	29	126
庄内飽海	35	36	31	38	140
合計	153	194	161	172	680

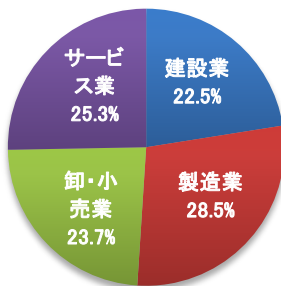
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	20	22	27	44	113
村山北部	13	20	13	8	54
最上	15	13	8	5	41
置賜	13	22	11	6	52
庄内田川	20	26	21	13	80
庄内飽海	15	22	20	21	78
合計	96	125	100	97	418

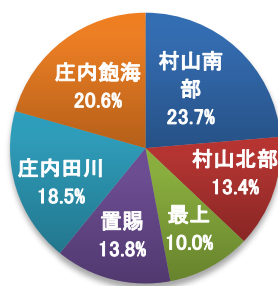
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	87.0	62.9	56.3	80.0	70.2
村山北部	61.9	57.1	76.5	44.4	59.3
最上	71.4	72.2	72.7	27.8	60.3
置賜	56.5	68.8	44.0	42.9	55.3
庄内田川	66.7	68.4	72.4	44.8	63.5
庄内飽海	42.9	61.1	64.5	55.3	55.7
合計	62.7	64.4	62.1	56.4	61.5

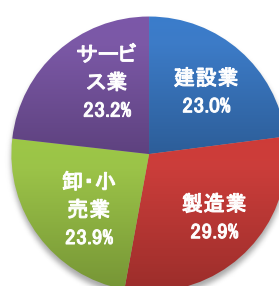
サンプル割合（業種別）



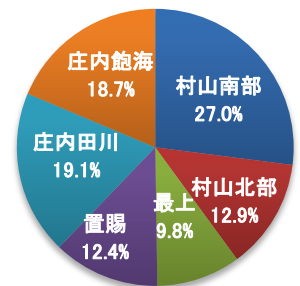
サンプル割合（地域別）



回答社割合（業種別）



回答社割合（地域別）



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部 F A X を利用）

● 調査期間

平成 29 年 11 月 1 日（水）～14 日（火）

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最 上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置 賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について 3 肢択一方式を採用している。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている

項 目	選択肢 (択一方式)
自社の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない 2. ちょうどよい 3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった 2. さほど変わらない 3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
製 (商) 品の仕入価 (卸・小売業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ 3 肢択一方式を採用している

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれ D I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、算出方法は次の通り

例) 自社の業況 D I 値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況 D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向 (良くなっているか、悪くなっているか) についても分かる

ちなみに、他の D I 値についても同様に、選択肢「1. 」(「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと) を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する

<お知らせ>

F S N 会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちら是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (<http://www.f-ric.co.jp/>) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア総合研究所

地域政策コンサルティンググループ 熊本 均 / 松田 美由紀 / 手塚 綾子

〒990-0043 山形県山形市本町1-4-21 荘銀山形ビル8F

TEL : 023-626-9017 FAX : 023-626-9038

E-mail : kenkyuu@f-ric.co.jp URL : <http://www.f-ric.co.jp/>